

筑波大学

グローバル・アジアと日本 ―アジア共同体への道筋を探る―

実施期間：2013年10月～2013年12月

	日程	講師氏名	所属	内容
1	10月2日	波多野澄雄	筑波大学名誉教授 ハーバード大学客員研究員	本講座の意義と歴史的座標から現在のアジアを考える。
2	10月9日	首藤もと子	筑波大学教授	「ASEAN 共同体」の可能性―制度、機能、国際関係についての現状と課題
3	10月16日	後藤 乾一	早稲田大学名誉教授	日本・東南アジア関係史における沖縄。
4	10月23日	佐藤 丙午	拓殖大学教授	核不拡散・軍縮とアジア共同体の役割について考察を試みる。
5	10月30日	赤根谷達雄	筑波大学教授	未定
		下斗米伸夫	法政大学教授	来日中のロシア人歴史研究者 Prof. Dmitri=Streltsov を交えての講義
6	11月13日	牛 黎涛	大正大学講師	チベット仏教という観点からグローバル・アジアの特質を考察。
7	11月20日	鈴木 隆	名古屋学院大学准教授	アジア共同体におけるシンガポールの役割。
8	11月27日	尹 文九	東京福祉大学教授	韓国のアジア共同体研究の最前線を考察する。
9	12月4日	池田 靖光	SMK(株)代表取締役社長	SMK トランスナショナル経営におけるアジアビジネス
10	12月11日	関 志雄	野村資本市場研究所 シニアフェロー	中国の台頭と日本
		水野 達夫	元ネパール駐筋特命 全権大使	アジア共同体とネパールの存在
11	12月18日	川島 真	東京大学准教授	中国の台頭とアジア共同体をめぐる国際関係について考える。
12		佐藤洋治	ワンアジア財団理事長	寄附財団理事長講義

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。